【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成23年6月23日(2011.6.23)

【公開番号】特開2011-31057(P2011-31057A)
【公開日】平成23年2月17日(2011.2.17)
【年通号数】公開・登録公報2011-007
【出願番号】特願2010-228354(P2010-228354)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　17/58　　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　17/56　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　17/58
Ａ６１Ｂ　17/56

【手続補正書】
【提出日】平成22年11月4日(2010.11.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
脊椎を安定化するための可撓性脊椎固定装置であって、
第１のロッド受容溝部を含む第１の椎弓根ねじと、
第２のロッド受容溝部を含む第２の椎弓根ねじと、
該第１の椎弓根ねじの該第１のロッド受容溝部内に装着される、第１の軸孔部を有する第１の剛的（不撓性）端部と、該第２の椎弓根ねじの該第２のロッド受容溝部内に装着される、第２の軸孔部を有する第２の剛的端部と、該第１及び第２の軸孔部の少なくとも一部を経由し延伸して該第１及び第２の端部を可撓的に結合するとともに、結合ユニットを製造する時に該第１の不撓性端部に恒久的に固着される可撓ワイヤと、を含む可撓固定用ロッドと、
を含むことを特徴とする、可撓性脊椎固定装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１２】
前記中央部は、前記可撓ワイヤを収容していることを特徴とする、請求項６～１１のいずれか一に記載の可撓性脊椎固定装置。